平成26年度 第2回 白川・緑川学識者懇談会

緑川総合水系 環境整備事業

① 事業採択後3年経過して未着工の事業

② 事業採択後5年経過して継続中の事業

③ 着工準備費又は実施計画調査費の予算化後3年経過した事業

- ④ 再評価実施後3年経過した事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業



1. 緑川流域の概要[緑川の概要と特徴]

【緑川の概要】

流域面積 : 1, 100km²

· 幹川流路延長: 76.0km

•流域内市町村:4市8町1村

・流域内人口 : 約54万人

(平成22年国勢調査)

■各区間の特徴

【緑川本川上流部(源流~鵜ノ瀬堰付近)】

- ・九州中央山地国定公園等の豊かな自然環境に恵まれ、国 指定重要文化財である通潤橋、霊台橋など数多くの石橋が 点在し、観光地となっている。
- ・渓流部にはヤマメやカジカガエル等、緑川ダム湖にはワカサギ等の多様な魚類が生息し、ダム湖周辺にはミサゴ等の多種の鳥類が飛来している。

【緑川本川中流部(鵜ノ瀬堰付近~高田堰)】

- ・歴史的にも有名な鮎のやな場や、グラウンドゴルフ、キャンプやバーベキューが楽しめる河川公園が点在している。
- ・細長い平地を緩やかに蛇行しながら流下し、瀬・淵が連続しており、アユ、オイカワ等が生息し、砂礫の多い瀬ではアユの産卵場ともなっている。河畔林の創出する環境は多様な生物の休息場・採餌場となっている。
- ・田園風景の中を交互する瀬・淵、砂礫河原、河畔林が織りなす**多様な自然**が広がっている。

【緑川本川下流部(高田堰~河口)】

- ・広大な熊本平野が広がり、<mark>熊本県有数の穀倉地帯</mark>となって おり、加藤清正による治水利水事業の構築物が残っている。
- ・生態系豊かな干潟、ヨシ原および汽水域は、シギ・チドリ類 の飛来数が多く、重要種であるアリアケシラウオ等の生息地 であることから「日本の重要湿地500」に選定されている。



【支川御船川】

- ・阿蘇外輪山を源流とし、<mark>御船町市街地を貫流し</mark>、緑川本川の中流部に合流している。上流域にある吉無田水源は熊本名水百選に選定されている。
- ・上流域では瀬と淵が連続しており、アユ、オイカワ等や、清流を好むスナヤツメ、アリアケギバチ等が生息し、水辺にはツルヨシ群落等が広がり、良好な環境を形成している。
- ・御船町では恐竜博物館新館が建設され、多くの来館者で賑 わっている。

1. 緑川流域の概要[緑川の利用状況]

<緑川の利用状況>

- ◆ 緑川では四季を通して散策や釣りなどの日常的な利用をはじめ、河川敷では夏祭りや花火大会、 御船川・加勢川では精霊流しなど、毎年恒例の行事が継続的に行われており、地域の交流拠点となっている。
- ◆ 中流部に位置する「津志田河川自然公園」や「グリーンパル甲佐」等、ピクニックや水遊び、グラウンドゴルフ等が楽しめるスポットがたくさんあり、流域住民だけでなく、熊本市内外からの人々でも賑わっている。
- ◆ 上流部は全国有数の石橋の宝庫として知られており、通潤橋をはじめとした国指定文化財、県指 定文化財が数多くみられ、観光地ともなっている。
- ◆ 緑川流域では日頃より水辺空間を活かしたリバースクールやカヌー体験、環境学習、安全講習等の活動や流域一斉清掃「緑川の日」が行われている。



津志田河川自然公園(甲佐町)



グリーンパル甲佐(甲佐町)



がぁ―っぱ祭り(御船町)



通潤橋(山都町)

1. 緑川流域の概要[緑川水系の目標]

<河川環境の整備と保全に関する目標>(緑川水系河川整備計画抜粋)

- ◆河川環境に関しては、動植物の生息・生育環境や繁殖地である渓流、瀬・淵、河岸、河畔林、河口干潟、ヨシ原、旧河道及び周辺環境等、多様な河川環境の保全・再生を目指します。
- ◆水質については、環境基準を満足する良好な水質を維持するとともに流域全体で更なる水質の 向上を図ります。
- ◆河川空間の整備と適正な利用については、沿川地域の現状を踏まえ、<u>活力ある地域づくり</u>に資する川づくりを目指します。また、子供たちをはじめ、地域住民等が安全に安心して利用できる人と川とのふれあいの場の保全・創出に努めます。
- ◆良好な景観の維持・形成については、緑川の清らかな流れと豊かな自然が織りなす河川景観の保全に努めるとともに、轡塘等の沿川各地に残る歴史的治水施設、歴史的街並み等に見られる 文化景観と調和のとれた河川景観の形成を目指します。

1. 緑川流域の概要[緑川総合水系環境整備事業の概要]

<事業評価(再評価)対象事業の概要>

今回は、事業が完了している高田地区、津志田地区および現在整備中である御船地区の水辺整備の事業効果を含め、今回新たに整備する予定の甲佐地区の水辺整備について、事業評価(再評価)に諮るものである。



1. 緑川流域の概要〔完了箇所〕

く完了箇所>

(1)高田地区

- ◆高水敷や水辺の利用が容易になったことから、<u>グラウンドゴルフ、カヌーや</u> <u>ボート、河川学習等の利用</u>ほか、<u>多くの家族連れ等が散策等に利用</u>されて おり、事業の効果が発現している。現在の良好な利用状況から現時点におい て改善措置の必要性は無いものと考えられる。
- ◆整備完了後は、嘉島町による維持管理や嘉島町民を中心に<u>緑川の清掃活動(緑川の日等)</u>が行われており、引き続き適切な維持管理に努めていく。
- ◆事業実施による周辺環境の変化に関して問題及び指摘は特にない。また、 社会経済情勢についても大きな変化はみられない。





【概要】

位置	緑川右岸:13k000~13k500
事業区分	水辺整備
主な 整備内容	高水敷切り下げ、管理用通路、護岸
事業費	4.4億円
事業期間	平成18年度~平成21年度

【利用状況】

(嘉島町調べ)

年月日	内容	利用者数	
H23年度	。 高田みんな広場公園 (グラウンドゴルフ場)	約3,000人	
H24年度		約5,600人	
H25年度		約5,300人	
H26年度 (8月末)		約2,000人	



1. 緑川流域の概要〔完了箇所〕

<完了箇所>

- (2)津志田地区
- ◆水辺へのアクセスが容易になったことから、日常的な散策や自然観察、魚釣りのほか、近隣の小学校の河川学習やイベントなどに利用されており、事業の効果が発現している。現在の良好な利用状況から現時点において改善措置の必要性は無いものと考えられる。
- ◆整備完了後は、甲佐町による維持管理や甲佐町民を中心に<u>緑川の清掃活動</u> (緑川の日等)が行われており、引き続き適切な維持管理に努めていく。
- ◆事業実施による周辺環境の変化に関して問題及び指摘は特にない。また、社会経済情勢についても大きな変化はみられない。







<u> </u>	
位置	緑川右岸:19k000~20k000
事業区分	水辺整備
主な 整備内容	管理用通路、護岸
事業費	1.4億円
事業期間	平成15年度~平成17年度

【利用状況】

(国土交通省調べ)

FAMILIANOTA		(日工人四百两) 7
年月日	内容	参加者数
H22~H25年 (毎年開催)	白旗小学校 持久走大会	約120人/年回
H23~H26年 (毎年開催)	白旗小学校 水生生物調査	約20人/年回
H23.8.7 (年4, 5回実施)	除草作業	90人 (近隣3地区住民)



1. 緑川流域の概要〔完了箇所〕

<完了箇所(平成26年度まで施工)>

(3)御船地区

- ◆高水敷や水辺の利用が容易になったことから、<u>地域のイベントや河川環境学習の利用</u>のほか、<u>カヌー、水遊び、散策等など日常的に利用さ</u>れている。
- ◆今後、御船川と御船町の観光資源を結ぶフットパスや高水敷での演奏会等のイベントが計画されている。
- ◆御船町や地域住民が主体となって<u>御船川を清掃する活動(緑川の日、御船川ボランティア清掃活動等)</u>が取り組まれている。

【概要】

位置	御船川:4k000~6k500
事業区分	水辺整備
主な 整備内容	管理用通路、高水敷整正、護岸、水制工、床固工(分散型落差工)
事業費	4.5億円
事業期間	平成24年度~平成26年度



水制工設置箇所の状況(H26.10月時点)



地域による利活用(精霊流し)



地域による利活用(環境学習)



地域による利活用(商工祭)



地域による維持管理

1. 緑川流域の概要[今回新たな整備箇所の地域の取り組み状況]

<今回新たな整備箇所の地域の取り組み状況>

- ◆甲佐地区では、「緑川リバーサイドパークin甲佐」(H13年3月)」や「第6次甲佐町総合計画(H23年4月)」等において、自然を活かしながら、地域に活気やにぎわいをもたらす町づくりを目指すことを明記されている。
- ◆具体的には、甲佐町で実施する「安津橋健康広場景観整備プロジェクト」のなかで、甲佐地区を含む施設整備を計画しており、緑川を軸にしたまちづくりが展開されている。
- ◆甲佐町では、小学4年生から中学生までを対象に緑川環境教育の一環として、体験学習「こうさ環境子ども 探検団」が開催され、水質検査や水生生物の生息調査が実施されている。
- ◆また、毎年緑川の日には地元住民による河川一斉清掃が行われ、隣接する「グラウンドゴルフ場」では町による維持管理が適切に遂行され、町民をはじめ多くの利用者の憩い・活動の場となっている。





つり等の利活用状況

河川環境学習(水生生物調査)

地域住民による清掃活動(緑川の日)

2. 事業の必要性等[緑川総合水系環境整備事業の概要]

- <今回新たな整備箇所(甲佐地区)>
 - 1)事業の必要性等
 - ◆甲佐地区に隣接するグラウンドゴルフ場の利用は多いが、様々な利用ができる憩いの場が求められている。甲佐地区では、グラウンドゴルフ場や周辺からの緑川へのアクセス性、地面の凹凸や水たまりなどの河川利用時の利便性や安全性が十分に確保されていない状況であり、アクセス性、高水敷の有効活用、安全性等の確保が望まれている。
 - ◆地域の観光資源と一体となり、流下能力向上等の取り組みにあわせた河川空間を整備することで、地域 の活性化や安全安心に資するとともに、河川巡視や河川管理の円滑化、河川利用の安全性の向上を図 ることが可能となる。

【事業計画範囲】



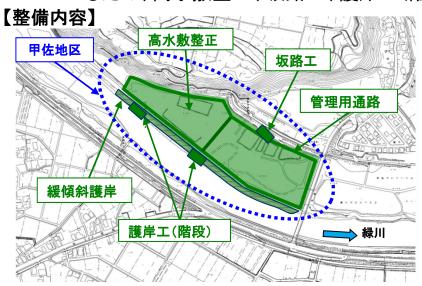




2. 事業の必要性等[緑川総合水系環境整備事業の概要]

2)事業の概要・目的

◆緑川とグラウンドゴルフ場の周辺の魅力を活かした地域活性化、様々な世代が集う水辺拠点を創造し地域交流の促進を図るとともに、河川利用者の安全性の向上、河川巡視・河川管理の円滑化を図るため、高水敷整正、坂路工、護岸工(階段)、管理用通路、緩傾斜護岸を整備する。



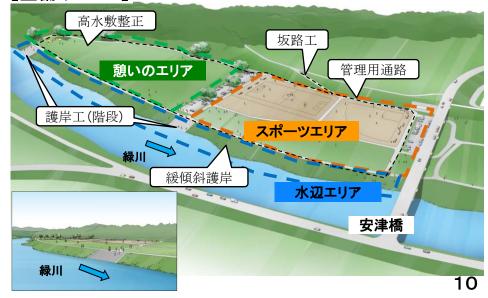
【工程表】

工種	H27	H28	H29	H30	H31	H32	Н33	H34	H35	H36
高水敷整正										
坂路工										
護岸工(階段)										
緩傾斜護岸										
管理用通路										
測量設計等										
モニタリング調査										

【概要】

位置	緑川 24k400~25k200付近
事業区分	水辺整備
主な 整備内容	高水敷整正、坂路工、護岸工(階段)、 管理用通路、緩傾斜護岸、モニタリング調査
事業費	5.1億円
整備完了年	平成31年度
事業期間	平成27年度~平成36年度

【整備イメージ】



2. 事業の必要性等[緑川総合水系環境整備事業の概要]

3) 事業の推進体制

- ◆平成26年7月に地元関係者、学校関係者、甲佐町、国土交通省の連携のもと、「甲佐地区かわまちづくり協議会」を設立し、甲佐地区の整備プランや整備後の維持管理・利活用等について活発な議論を行っている。
- ◆現在、毎年緑川の日には**地元住民による河川一斉清掃が実施**されており、今後も継続して実施していくことになっている。
- ◆今後、各種スポーツ大会の拠点や、町民をはじめ多くの利用者 の憩い・活動の場として利用していくことを予定している。



甲佐地区かわまちづくり協議会の開催状況



甲佐10マイル公認ロードレース大会



あゆまつり



あゆまつりでの花火大会



住民による一斉清掃

3. 前回評価時からの変化

項目	前回評価時 (平成23年度) 今回評価時 (平成26年度)		変更理由
総事業費	約10.3億円 高田地区:約4.4億円 津志田地区:約1.4億円 御船地区:約4.5億円	約15.4億円 高田地区:約4.4億円 津志田地区:約1.4億円 御船地区:約4.5億円 甲佐地区:約5.1億円	
整備完了年	平成26年度	平成31年度	甲佐地区の追加に
B/C	6. 1	4. 8	伴う変更
B(便益)	77. 5億円	91. 2億円	
C(費用)	12. 6億円	19. 0億円	

[※]御船地区は、今年度までの事業予定であり、整備は継続中であるが、予算はすでに確定済みのため事業としては「完了事業」である。 ※B/Cの算出は、便益を費用で除算することにより算出する。便益はアンケート調査によって求めた年支払い意思額と便益が及ぶ世帯 数を積算し、これを社会的割引率を用いて現在価値に換算し完成後50年分を足し合わせることにより算出する。費用は事業費と完 成後50年分の維持管理費を社会的割引率等を用いて現在価値に換算し足し合わせることにより算出する。

4. 事業の投資効果[費用対効果等]

<費用対効果等>

		事業費	主な整備内容	便益(B)	費用(C)	B/C
全事業 15		15.4億円	_	91.2億円	19.0億円	4.8
完	了事業	10.3億円	_	83.4億円	14.1億円	5.9
7	水辺整備	10.3億円	_	83.4億円	14.1億円	5.9
	高田地区 4.4億円		高水敷切り下げ、管理用通路、護岸	52.2億円	6.3億円	8.3
	津志田地区 1.4億円		管理用通路、護岸	11.5億円	2.6億円	4.5
	御船地区 4.5億円		管理用通路、高水敷整正、護岸、水制工、 床固工(分散型落差工)	19.6億円	5.3億円	3.7
残哥	残事業 5.1億		_	7.8億円	4.9億円	1.6
7	水辺整備 5.1億円		_	7.8億円	4.9億円	1.6
甲佐地区 5.1億円		5.1億円	高水敷整正、坂路工、護岸工(階段)、 管理用通路、緩傾斜護岸、モニタリング調査	7.8億円	4.9億円	1.6
	アン	ケート	アンケート 右効	生計	支払い音	田 頞

	アンケート 実施年度	アンケート 配布数	有効 回答数	集計範囲	集計 世帯数	支払い意思額 (円/月・世帯)
甲佐地区	平成26年度	1,500	202	半径10km圏内	10,717	343

5. 事業の進捗の見込み・コスト縮減や事業手法、施設規模等の見直しの可能性

(1)今後の事業展開

◆甲佐地区においては、今後も地域住民や関係団体、行政機関等と協力して事業を進め、<u>平成27年度に事業に着手し、平成31年度に整備を完成させる予定である。平成32年度以降はモニタリング調査等を実施し、平成36年度に完了予定である。</u>

(2)今後の事業の進捗の見込み

◆甲佐地区では、平成26年7月より地域関係者(地元代表,学校関係,関係団体等)や地元自治体(上益城郡甲佐町)、河川管理者(国土交通省)が参加する「甲佐地区かわまちづくり協議会」が開催される等、地域の協力体制が確立されており、今後も順調な事業進捗が見込まれる。

(3)事業手法、施設規模等の見直しの可能性

◆甲佐地区の整備内容については、計画段階から「甲佐地区かわまちづくり協議会」において、 議論を重ねた上で、河川管理面、河川利用面を考慮した上での適切な整備内容となっており、 現計画が最適と考えている。

(4)コスト縮減の方策

◆近年の技術開発の進展に伴う新工法等の採用による<u>新たなコスト縮減の可能性等を探りながら、事業を進めていく方針である。</u>

6. 対応方針(原案)

- ◆甲佐地区については、緑川とグラウンドゴルフ場の周辺の魅力を活かした地域活性化や様々な世代が集う水辺拠点を創造し地域交流の促進を図り、河川利用者の安全性の向上、河川巡視・河川管理の円滑化を図るため、高水敷整正、護岸(階段)、管理用通路を整備するものである。
- ◆国土交通省が参加する「甲佐地区かわまちづくり協議会」(地元関係者、学校関係者、甲佐町による)が設置されているとともに、地域住民を主体とした清掃活動を実施するなど、地域の協力体制が整っている。
- ◆費用対効果についても十分高い事業である。

以上より、引き続き事業を継続することとしたい。

緑川総合水系環境整備事業

参考資料

(1) 費用対効果等

1) 全事業

【便益】

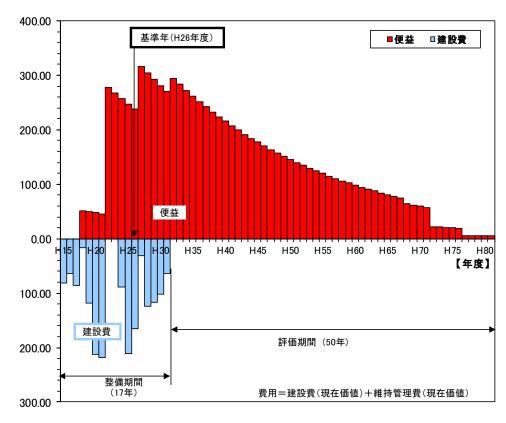
評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。
残存価値	設定しない。
社会的割引率	4 %
便益発生年	水辺整備(供用開始年から 50 年間) 高田地区 : 平成 22 年度~ 津志田地区 : 平成 18 年度~ 御船地区 : 平成 27 年度~ 甲佐地区 : 平成 32 年度~
配布数及び 有効回答数	水辺整備 高田地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 217 票 津志田地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 178 票 御船地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 213 票 甲佐地区 : 配布数 1,500 票、有効回答数 202 票
範囲及び世帯数	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分) 高田地区 : 半径 10km 圏内、 83, 232 世帯 津志田地区 : 半径 10km 圏内、 12, 103 世帯 御船地区 : 半径 10km 圏内、 24, 574 世帯 甲佐地区 : 半径 10km 圏内、 10, 717 世帯
支払意思額	水辺整備 高田地区 : 200 円/月/世帯 (2, 400 円/年/世帯) 津志田地区 : 260 円/月/世帯 (3, 120 円/年/世帯) 御船地区 : 310 円/月/世帯 (3, 720 円/年/世帯) 甲佐地区 : 343 円/月/世帯 (4, 116 円/年/世帯)
評価期間	50年

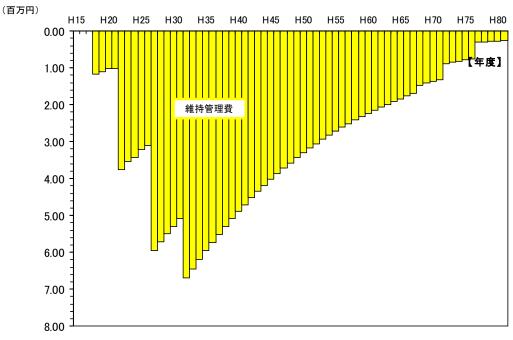
【費用】

総事業費(百万円)	1, 539. 300
維持管理費(百万円)	424.000

【費用便益比】

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
1, 707. 548	9, 118. 140	1, 899. 368	4.8





2) 完了箇所(水辺整備)

【便益】

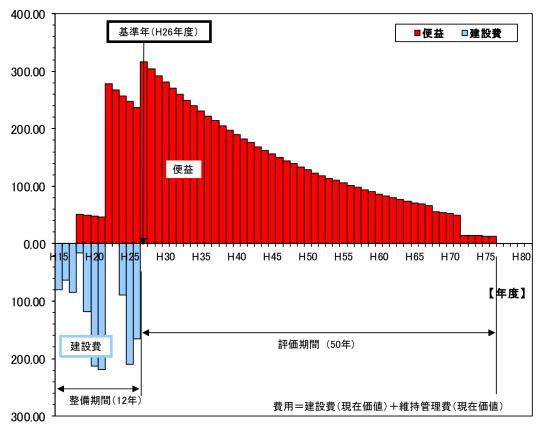
評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。
残存価値	設定しない。
社会的割引率	4 %
便益発生年	水辺整備(供用開始年から 50 年間) 高田地区 : 平成 22 年度~ 津志田地区 : 平成 18 年度~ 御船地区 : 平成 27 年度~
配布数及び 有効回答数	水辺整備 高田地区 :配布数 1,000 票、有効回答数 217 票 津志田地区 :配布数 1,000 票、有効回答数 178 票 御船地区 :配布数 1,000 票、有効回答数 213 票
範囲及び世帯数	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分) 高田地区 : 半径 10km 圏内、 83, 232 世帯 津志田地区 : 半径 10km 圏内、 12, 103 世帯 御船地区 : 半径 10km 圏内、 24, 574 世帯
支払意思額	水辺整備 高田地区 : 200 円/月/世帯 (2,400 円/年/世帯) 津志田地区 : 260 円/月/世帯 (3,120 円/年/世帯) 御船地区 : 310 円/月/世帯 (3,720 円/年/世帯)
評価期間	50年

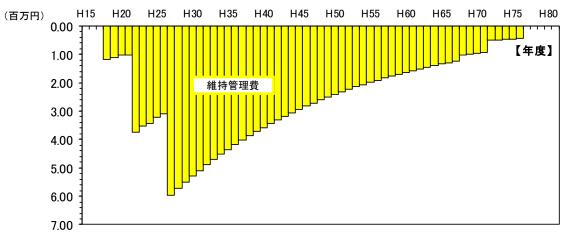
【費用】

総事業費(百万円)	1, 031. 110
維持管理費(百万円)	309. 500

【費用便益比】

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
1, 260. 252	8, 339. 282	1, 411. 638	5. 9





2)-1 完了箇所(水辺整備:高田地区)

【便益】

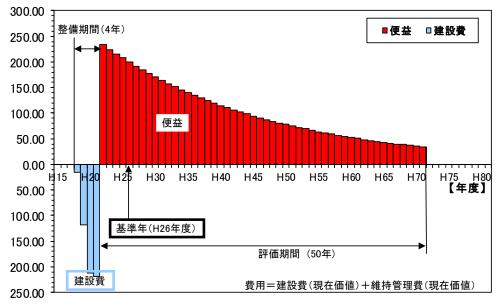
評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。
残存価値	設定しない。
社会的割引率	4 %
便益発生年	水辺整備(供用開始年から 50 年間) 高田地区 : 平成 22 年度~
配布数及び	水辺整備
有効回答数	高田地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 217 票
然回フィドルサギ	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分)
範囲及び世帯数	高田地区 : 半径 10km 圏内、83,232 世帯
十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	水辺整備
支払意思額	高田地区 : 200 円/月/世帯 (2,400 円/年/世帯)
評価期間	50年

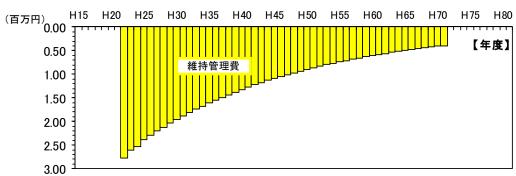
【費用】

総事業費(百万円)	439. 540
維持管理費(百万円)	114. 500

【費用便益比】

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
565. 735	5, 220. 919	625. 775	8. 3





2)-2 完了箇所(水辺整備:津志田地区)

【便益】

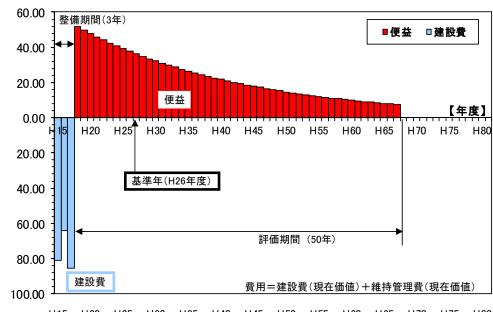
評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。
残存価値	設定しない。
社会的割引率	4 %
便益発生年	水辺整備(供用開始年から 50 年間) 津志田地区 : 平成 18 年度~
配布数及び 有効回答数	水辺整備 津志田地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 178 票
範囲及び世帯数	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分) 津志田地区 : 半径 10km 圏内、 12,103 世帯
支払意思額	水辺整備 津志田地区 : 260 円/月/世帯 (3, 120 円/年/世帯)
評価期間	50年

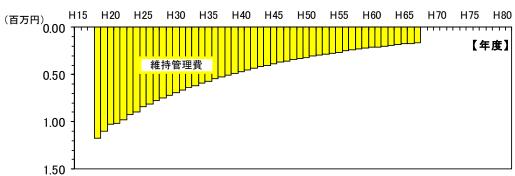
【費用】

総事業費(百万円)	144. 000
維持管理費(百万円)	40. 500

【費用便益比】

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
230. 313	1, 154. 572	255. 280	4. 5





2)-3 完了箇所(水辺整備:御船地区)

【便益】

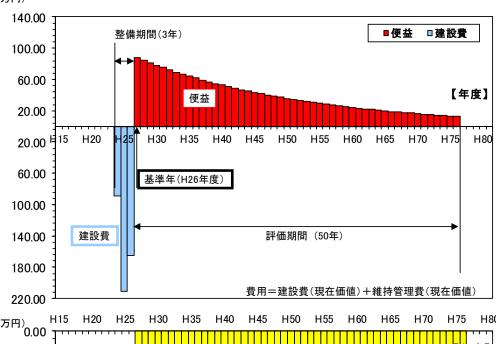
評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。
残存価値	設定しない。
社会的割引率	4 %
西光 欢	水辺整備(供用開始年から 50 年間)
便益発生年	御船地区 : 平成 27 年度~
配布数及び	水辺整備
有効回答数	御船地区 : 配布数 1,000 票、有効回答数 213 票
範囲及び世帯数	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分)
11世界の世帯数	御船地区 : 半径 10km 圏内、 24,574 世帯
 支払意思額	水辺整備
文14总心识	御船地区 : 310 円/月/世帯 (3,720 円/年/世帯)
評価期間	50年

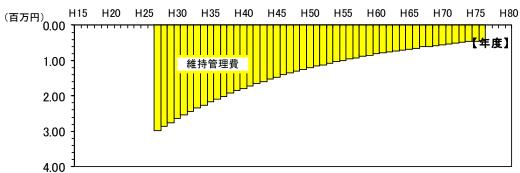
【費用】

総事業費(百万円)	447. 570		
維持管理費(百万円)	154. 500		

【費用便益比】

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
464. 204	1, 963. 791	530. 583	3. 7





3) 今回新たな整備箇所(水辺整備:甲佐地区)

【便益】

評価手法	河川利用時の安全性の改善や河川環境の保全・創出が目的であるため、CVM 手法を適用。		
算定方法	CVM手法:アンケート調査によって求めた支払い意思額と、便益が及ぶ世帯数との積により算出。		
残存価値	設定しない。		
社会的割引率	4 %		
便益発生年	水辺整備(供用開始年から 50 年間) 甲佐地区 : 平成 32 年度~		
配布数及び 有効回答数	水辺整備 甲佐地区 : 配布数 1,500 票、有効回答数 202 票		
範囲及び世帯数	水辺整備(受益範囲が重複する場合は、世帯数を事業数で按分) 甲佐地区 : 半径 10km 圏内、 10,717 世帯		
支払意思額	水辺整備 甲佐地区 : 343 円/月/世帯 (4,116 円/年/世帯)		
評価期間	5 0 年		

【費用】

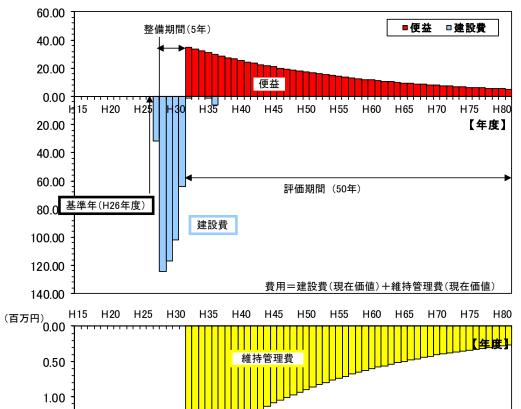
総事業費(百万円)	508. 190	
維持管理費(百万円)	114. 500	

【費用便益比】

1.50

2.00

事業費 (百万円)	総便益B (百万円)	総費用C(百万円)	B/C
447. 296	778. 858	487. 730	1.6



=費用便益の一覧表=

緑川総合水系環境整備事業

4001.144	, H ,	\ 不以况置赠手:	<u> </u>			
			B 総便益(百万円)	C 総費用(百万円)	B/C 費用便益比	備考
全事業			9,118.140	1,899.368	4.8	
完	完了事業		8,339.282	1,411.638	5.9	
	水	辺整備事業	8,339.282	1,411.638	5.9	
		高田地区	5,220.919	625.775	8.3	
		津志田地区	1,154.572	255.280	4.5	
		御船地区	1,963.791	530.583	3.7	
今	今回新たな整備箇所		778.858	487.730	1.6	
	水	辺整備事業	778.858	487.730	1.6	
		甲佐地区	778.858	487.730	1.6	